

がんばるや

もみじ福祉会ニュース

発行/社会福祉法人 もみじ福祉会

(第一もみじ作業所・第二もみじ作業所)

1997年8月
第13号

〒730 広島県広島市中区吉島西2-1-24
TEL (082) 243-0331
FAX (082) 243-0497



今年も「夏」しました
「みんなきんさい」ヒューマンビーチ長瀬(能美)にて

関係者の旺盛な討議を！

「将来構想第1期5カ年計画」第1次案 提示

もみじ福祉会では、法人などのステップともなる「宿泊訓練」を開始し、続いて、昨年からは「緊急一時・レスパイト事業」にも着手しました。これらの事業は、保護者会などからの物心両面にわたる助成を受けて順調に進んでいます。しかし、親の不安の解消、仲間自身の自立要求の高揚に際しては、保護者の「何があった時の不安」「親なき後の不安」などの大きさを示すものでした。

一方、働く場づくりについてはいえ、待機者を抱えている現状は、障害者の働く場の一層の拡充の必要性を示しています。また、中期の展望として、「将来構想第一期五カ年計画」第1次案を策定しました(左掲)。

そして五月、もみじ福祉会関係各団体に対し、「一人一人が主体者となるような、また、地域の社会資源として一層有意義な活動に発展させていくために、さらに広島市の障害者福祉計画の一翼を担うよう取り組みを進めるために」旺盛な討議と意見提出を依頼しました。

今後は、関係各団体からの意見を集約しつつ、十月十一月にかけて再討議し、成案化していく計画です。

もみじ福祉会
将来構想
検討委員会

将来構想 第1期 5カ年計画(1998年～2002年)

第一次案

【働く場作り・日中の活動の場づくりについて】

- (1) 小規模作業所の開設
1998年度の開所をめざして、小規模作業所作りに取り組みます。これは、①在宅者・新卒者受け入れ枠の確保、②適正な措置施設選択の場づくり、③制度にのらない先駆的な取り組みの場づくり——として取り組むものです。
取り組みに当たっては、ニーズ調査を行いつつ、ニーズを持っている人たちと共に取り組みを進めていく必要があります。
 - (2) 作業重点型授産施設の整備
2001年から2002年にかけて、作業重点型授産施設の整備ができるよう、準備を進めます。この取り組みは、自立生活を目標にできる人たちの働く場の充実を目指すものです。
 - (3) 生き甲斐重視型活動施設の整備
2002年度以降、生き甲斐重視型の通所施設の整備に取り組めるよう、準備を進めます。この取り組みは、重度障害者の日中の活動の場の整備として取り組むものです。
- ※ 以上の取り組みを基礎に、①作業重点型授産施設、②福祉的就労型授産施設、③ 生き甲斐重視型の活動施設——からなる、人それぞれに異なる障害の状況に対応できる施設体系の確立に取り組みます。

【生活の場づくりについて】

- (1) グループホームの開設
生活支援上、緊急性の高い人を対象に、1998年度中にグループホーム第1号を開設します。また、2000年度中には、身障ホームとの合築で第2号を開設できるよう準備を進めます。
場所としては、当面、「もみじの家」の2階を活用しつつ、公営住宅の活用も含めて、広島市による公的支援の要望にも取り組みます。
- (2) 生活施設作り
2002年度中に、生活施設づくりの整備計画が整うよう、準備を進めます。この取り組みは、重度障害者の生涯にわたる生活支援体制の整備を目指すものです。

【その他——啓発と貢献】

障害者問題や人権問題についての啓発と、もみじ福祉会の社会的貢献に取り組めます。
具体的には、地域に根ざした活動に留意しつつ、①福祉相談会、②福祉講座やボランティア講座の開催、③ともだちコンサートなどの開催、④障害者生協の検討・研究、その他の取り組みを、後援会の力も借りつつ進めていきます。

ついにやったぞ！ゆめの「1勝」

つながり祭 ゴロ野球大会



「パチンコの釘ほどいる」もみじの鉄壁の守り



わたしがもみじの「大砲」です(体が?)

五月二十五日(日)、市立養護学校で「第十五回つながり祭」が開催され、その企画の中の「ゴロ野球大会」に出場しました。

この大会に向けて、生活活動の時間や休憩時間に仲間たちが自主的に練習をしていたので、試合を楽しみにしているのがよくわかりました。

さて、当日の試合では、思いがけなく勝つことができました。それも二勝も、これは、実は知る人ぞ知るもみじ作業所「史上初の1勝」という超快挙なのです。

勝因はというと、上位打線の好調な打撃と、守備では車イスの仲間たちのナイスキャッチがあげられました。

守備の方でいうと、本大会のルールでは、打ったボールが車イスに当たると、それが打者はアウトになります。このルールは我がチームには助かりました。

車イスの仲間がチームには五人いて、電動車イスの仲間をはじめ、上手に飛んでくるボールにぶつけてことごとくアウトにしました(他のチームには車イスの仲間はほとんどいなかったので、もみじ専用のルールとはいえ、何か悪いような気もしましたが…)。

上位打線は、森本君、豊久さん、跡野君、伊世君などで、野手の間を抜けるあたりや、頭の上を越すようなヒットが多く、うまく得点につながりました。

守備の方でいうと、本大会のルールでは、打ったボールが車イスに当たると、それが打者はアウトになります。このルールは我がチームには助かりました。

車イスの仲間がチームには五人いて、電動車イスの仲間をはじめ、いい緊張感の中で試合ができたことが一番良かったと思います。

日頃から、ゴロ野球を練習してこういう声があがっています。これからも目標となるような試合がもっと増えてほしいと思います。

(藤葉)



伊世君！スイングは最高！ボールは？

五月二十五日(日)、市立養護学校で「第十五回つながり祭」が開催され、その企画の中の「ゴロ野球大会」に出場しました。

この大会に向けて、生活活動の時間や休憩時間に仲間たちが自主的に練習をしていたので、試合を楽しみにしているのがよくわかりました。

さて、当日の試合では、思いがけなく勝つことができました。それも二勝も、これは、実は知る人ぞ知るもみじ作業所「史上初の1勝」という超快挙なのです。

勝因はというと、上位打線の好調な打撃と、守備では車イスの仲間たちのナイスキャッチがあげられました。

守備の方でいうと、本大会のルールでは、打ったボールが車イスに当たると、それが打者はアウトになります。このルールは我がチームには助かりました。

車イスの仲間がチームには五人いて、電動車イスの仲間をはじめ、上手に飛んでくるボールにぶつけてことごとくアウトにしました(他のチームには車イスの仲間はほとんどいなかったので、もみじ専用のルールとはいえ、何か悪いような気もしましたが…)。

上位打線は、森本君、豊久さん、跡野君、伊世君などで、野手の間を抜けるあたりや、頭の上を越すようなヒットが多く、うまく得点につながりました。

守備の方でいうと、本大会のルールでは、打ったボールが車イスに当たると、それが打者はアウトになります。このルールは我がチームには助かりました。

車イスの仲間がチームには五人いて、電動車イスの仲間をはじめ、いい緊張感の中で試合ができたことが一番良かったと思います。

日頃から、ゴロ野球を練習してこういう声があがっています。これからも目標となるような試合がもっと増えてほしいと思います。

(藤葉)

仲間感想
伊世 伸一

五月二十五日につながり祭でゴロ野球をしました。ゴロ野球に出る人を集めて、毎日作業所の玄関先で、昼休みにみんなで練習をしました。打ったり、守ったり、ぜひ今年は一勝を、を合言葉にがんばりました。

試合当日六チーム集まりました。当日のどびり参加もあって、もみじ作業所から十五人の仲間が試合に出場しました。

作業所の朝礼で三位になったことを報告したら、みんながはくしゅをして喜んでくれました。

今回のゴロ野球は自分達で練習をして、自主的に取り組むことができました。

一回戦は一回の表からみんな良く打ってで五対〇で「つちくれの家」に勝ちました。豊久さんがピッチャーでがんばりました。

二回戦は安佐南区の「みのり作業所」とやりました。しかし残念ながら一対六で負けました。

三位決定戦の試合に勝てば三位になるとあって「みんながんばろう」と言い、「くさのみ作業所」に四対二で勝ち、みごとに三位になりました。

またした。

一回戦は一回の表からみんな良く打ってで五対〇で「つちくれの家」に勝ちました。豊久さんがピッチャーでがんばりました。

二回戦は安佐南区の「みのり作業所」とやりました。しかし残念ながら一対六で負けました。

三位決定戦の試合に勝てば三位になるとあって「みんながんばろう」と言い、「くさのみ作業所」に四対二で勝ち、みごとに三位になりました。

虹の会企画のはばたこう交流会 第二弾

「たっ、おどって 楽しかった！」

七月二十四日、西条のスポーツ交流センターおぼろにて、(共作連)仲間の会虹の会企画のはばたこう交流会第二弾が行われました。もみじの実行委員は三名で、広島駅・西条駅の駅員さんに電動車イスの誘導や車イスを抱えての移動など、色々とおもてなしをいただきました。駅員さんありがとうございました。でも、本当は駅の構内もスムーズに移動できると思います。

交流会では、十ヶ所の作業所の仲間が代表で実行委員会を結成し、そして中心となり、準備を進めました。三回の実行委員会のうち、二回は下見を兼ねて、会場となるスポーツ交流センターにおりづるで行いました。広島市内の実行委員は、駅で待ち合わせて、一緒にJRで行きました。

さて、当日は、県内一六ヶ所の作業所の仲間・親・職員・ボランティアと東広島市の現地のボランティア、総勢五百四名が集まり、盛大に行われました。今年「他作業所の仲間」といっばい交流しよう」ということを目的とし、全体を四グループに分け、グループ単位で歌

午前中は「歌って踊ろう」ということで、もみじ作業所のオリジナルソング「もみじ」を歌ったり、ファイアの「渚にまつわるエトセトラ」の曲に、安芸共同作業所が振り付けたオリジナルダンスと一緒に踊ったりと、会場は熱気ムンムンでした。午後からは、まず「がんばるぞとグループの気持ちを一つにする応援合戦をし、どのグループも趣向を凝らして、大鼓あり(まるで甲子園)替え歌ありと、短時間で打ち合わせしたとは思えない程、息のぴったり合った応援で、司会者の「また来年もやろう」という言葉を聞きながら、



実行委員さん 真剣です

有名デザイナーの応援をうけ

もみじシンボルマーク 完成!

の干支をモチーフにした木工製品があるので、お宅の作業所で商品化してみないか」という電話をいただいたのが出会いのきっかけでした。

その話は「もみじ作業所には木工部門がない」という事でもそのままになってしまっていたのですが、数ヶ月後、印刷グループの「新商品づくりで何か良い知恵はないだろうか」という話の中で、「藤重さんに相談してみよう」ということになり、お伺いしたところから始まりました。

新しい商品づくりについてあれこれ相談している中で、藤重さんから「もみじ福祉会・もみじ作業所の顔が見えない」という指摘があり、もみじ福祉会・もみじ作業所のシンボルマークを作ろうということになったわけです。

僕の夢・私の願い

～こんな暮らししてみたい～

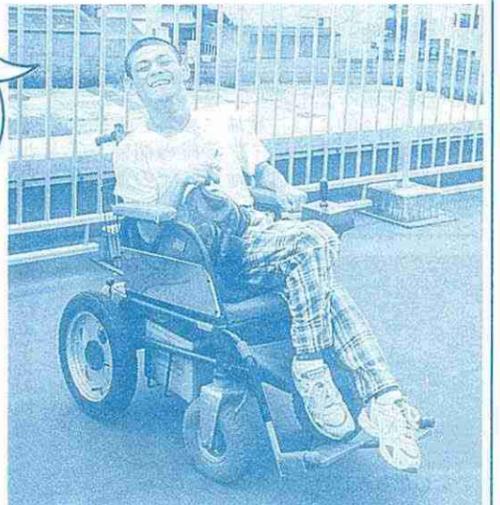
佐伯 勝

今号より新しく始まった「僕の夢・私の願い」という、将来について語るコーナー！

トップバッターとして、印刷グループの佐伯勝君に、将来の生活についての夢などを語ってもらいました。ちよっぴり質問もしてみましたので、あわせて紹介します。

僕の夢は、将来ボランティアさんを集めて、一人暮らしをすることです。

親元を離れて、ボランティアさんと生活をしてみたいです。それが中学生からの夢です。そのためにも、ボランティアさんをつのつていきたいと思っています。



Q1 住むとしたら、どのあたりに住みたい？

「この広島に住み続けたいです」

Q2 ボランティアさんには、どんなことを手伝ってもらいたい？

「着替えとか、トイレの介助とか、食事を作ってもらって食べさせてもらったりとかかなです」

Q3 この夢を実現させるためにはどんなことをしていけばいい？

「たくさんボランティアさんを確保すること、車椅子で生活できるアパートを探すこと、親を説得することかな」

Q4 生活面の夢を聞いてきましたが、仕事面での夢があれば教えてください

「パソコンで文字を打って、文字をデザインするような仕事もしてみたいです」

行事日誌

5月

署名たくさんもらったヨ

- 1日 もみじ作業所 がんばるダイ (共作連署名行動)
- 2日 フラワーフェスティバル 出店参加 (~5日)
- 6日 県産産振興センター 見学来所
- 9日 宿泊訓練 (第35回)
- 12日 もみじ福祉会後援会 結成会議
- 14日 ノートルダム清心高校 NDA委員会 見学来所
- 16日 もみじ福祉会 内部監査
- 18日 西部地区親善野球大会参加
- 19日 三宅氏 見学来所
- 21日 保護者会 例会
- 22日 もみじ福祉会 第20回理事会
- 23日 高知・あゆみ作業所 見学来所
- 24日 宿泊訓練 (第36回)
- 24日 ノートルダム清心中・高校文化祭 出店参加
- 25日 第15回つながり祭 出店参加
- 26日 大上氏 見学来所
- 29日 ディキャンプ (森林公園)

修 (共作連 連続講座 No1)

人会 来所見学

授産振興センターとの懇談会

全国大会 IN 大阪 参加 (~8日)

自立訓練事業 入所式

活動

練 (第37回)

福祉会 5周年記念事業

委員会発足

立訓練 Aグループ

回 (~19日)

会 例会

ペーカリーより 見学来所

きれいにみかけたかな?

研修報告

情勢を学び 実践を見つめ直して

学習会では、一人の子供の一歳前半から二歳後半までの姿を、発達段階ごとにビデオを使って説明されました。もみじ作業所の仲間を思い浮かべつつ話を聞くうちに、あつという間に時が過ぎた学習会で、大きな大きな課題を突きつけられて終わったように感じました。



講師 田中 昌人先生
連続講座 (その1)
共作連広島県支部

6/1(日)

今年度に入り、色々な研修に参加し、他施設の実践や発達保障について、福祉をとりまく情勢などを学びました。その研修報告の一部を紹介します。

「仲間たちを主人公に」と言いながら、時としてこなざなければならぬ仕事を前に、自分自身の中にも矛盾を感じていたのはこれなのだ。仲間が発する発達のサインやきざしをそれとして受け止め、見落とさないにはどうしたら良いのか、発達する権利を奪う方向にいかないか、持っている力を剥落させていないか、再度考え、見つめたいです。

(永井 郁江)



時間切れで次へのヒントが学べなかったのでも、切に再講を要望します。

「仲間たちを主人公に」と言いながら、時としてこなざなければならぬ仕事を前に、自分自身の中にも矛盾を感じていたのはこれなのだ。仲間が発する発達のサインやきざしをそれとして受け止め、見落とさないにはどうしたら良いのか、発達する権利を奪う方向にいかないか、持っている力を剥落させていないか、再度考え、見つめたいです。

6/7(土) 6/8(日)

全国集会 in 大阪
共作連

共作連全国大会で、「二十世紀の重度障害者の就労を考える」というセミナーに参加しました。初めに「重度」の意味について、日本では障害別で重度と分けていますが、ヨーロッパ諸国では働ける能力によって分けています。ヨーロッパにおける重度と日本における重度では意味合いがかなりギャップがあることを感じました。

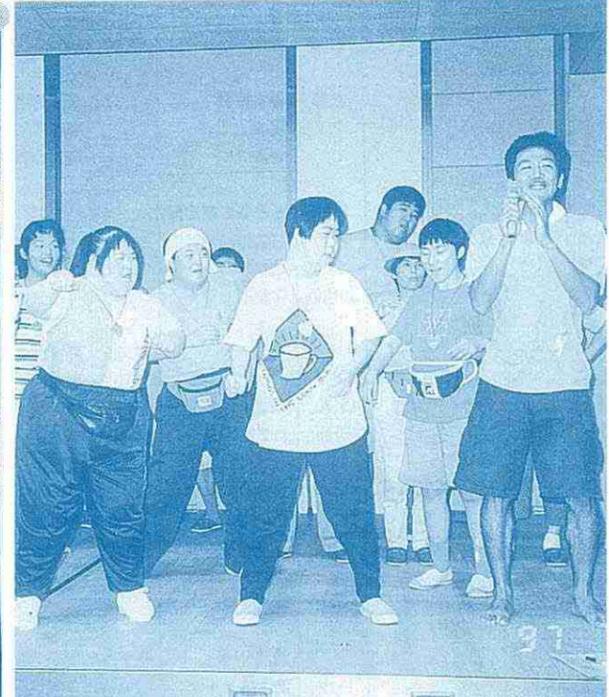
(田中 茂雄)

共作連広島県支部 連続講座 (その2)
講師 小野 隆二先生

7/6(日)

共作連連続講座第二回「知的障害者の入所施設の現状と課題」と題して、埼玉県にある「あかつき園」の小野隆二氏の講演を聴きました。あかつき園の実践では、仲間たちの生の声を大事にするのが大切と力説されました。

(池田 光)



イエイ・イエイ ゴーゴー 色んな作業所の人と ステージでおどったヨ

最後に、実行委員の皆さん、本当にご苦労様でした。また、当日手伝っていただいたボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。

私たちは、この度、もみじ福祉会・もみじ作業所の取り組みよせる思いをイメージ化したシンボルマークを作りました。右にあるのがそれ。これは、西区横川で藤重デザイン室を主催されている藤重さんの協力を得て完成したものです。

自主製品や発行物などに幅広く使って、もみじ福祉会とその取り組みの知名度の向上にフルに活用していきたいと思っています。藤重さんは、日本の百人のデザイナーに数えられる方で、地元を中心に数多くの有名企業のロゴマークを手がけておられる方です。

思いました。講演の内容は、午前中は①「入所施設はどうなっているか?」②「入所者の人間らしい生活を保障しているか?」③「入所施設の改善策」④改めて入所生活施設あり方を考える⑤障害者プランでの入所施設計画、午後からはあかつき園の施設づくり、仕事起こしという骨子でした。

質問に、会場もわれんばかりの「やりた、す」という返事。もうすでに、来年の交流会に期待している多くの仲間の気持ちがあがりました。



MOI

マークづくりに向けて、藤重さんに、私たちもみじ福祉会やもみじ作業所への取り組みに寄せる思いを伝えるために、何度か藤重さんのオフィスを訪問させていただきました。

伝言板
共作連 広島県支部 主催
連続講座 その3
・成人期障害者の発達について
・自閉症を持つ障害者の発達と生活づくり
講師:白石 正久先生
日時:9月28日(日) 受付 9:30~
場所:若者定住センター「ミュージアム」
高田郡甲田町高田原1446-3
(TEL 0826-45-4311)
参加費:2,000円
こう御期待!
2次障害について etc
講師:山口 平八先生
日時:11月16日(日)
場所:もみじ作業所
くわしくはもみじ作業所まで

8月
海水浴 楽しかった!
1日 海水浴 (みんなきんさい実行委員会)
4日 広島ろう学校生徒 実習 (~8日)
5日 西条養護学校見学来所
8日 もみじ福祉会 第21回理事会
11日 夏休み (~16日)
19日 民医連准看学生 1日実習
25日 生活自立訓練 Bグループ 第2回 (~27日)
30日 もみじ作業所 第5回夏祭り

7月
2日 広島養護学校見学来所
4日 クラブ活動
6日 職員研修
(共作連 連続講座 No.2)
10日 生活活動 (プール)
11日 宿泊訓練 (第39回)
14日 広島市手話通訳者見学来所
15日 参観懇談会 (さそり) 山形県明星園より 実習来所 (~17日)
16日 参観懇談会 (タンボール) 保護者会 例会
17日 参観懇談会 (印刷)
22日 参観懇談会 (軽印刷) YMCA健康福祉専門学校 実習 (~30日)
23日 生協ひろしま見学来所
24日 共作連仲間の会 「はばたこう交流会」
25日 貞九氏見学来所 宿泊訓練 (第40回)
29日 生活自立訓練 Aグループ 第2回 (~31日)
30日 参観懇談会 (クッキー)
31日 YMCA健康福祉専門学校 実習 (~8月8日)

6月
建設労組の皆さんに 色々な所を直していただきました
1日 職員研修
3日 医師婦
4日 県・市
7日 共作連
10日 「生活
13日 クラブ
宿泊訓練
14日 もみじ
推進自
17日 生活 第1
保護者
タカキ
23日 生活自立訓練 Bグループ 第1回 (~25日)
24日 歯科衛生指導 (生協歯科ひろしまより)
25日 建設労組 修繕ボランティア来所
27日 もみじ作業所 夏祭り実行委員会 宿泊訓練 (第38回)
31日 生活自立訓練 Cグループ 第1回 (~7月2日) 歯科衛生指

生活自立訓練 スタート!



開所式

去る六月十日(火)に「精神薄弱者生活自立訓練事業」の開所式が、広島市役所で行われました。

開所式には、自立訓練事業参加者九名と保護者、もみじの家専任職員、この事業でお手伝いいただく世話人の佐藤さん、そして、広島市から障害福祉課長さん

が出席されました。まず、障害福祉課長さんから、「この事業を通じて、地域社会での自立と社会参加の促進につながるきっかけになればと思っています。また、二泊三日を五回取り組むので、体に気をつけてがんばってください」という激励のあいさつがありました。次に、参加者全員が自己紹介をして、それぞれが目標を発表しました。

さりととスーツに身をまとい、少し緊張気味の人、自分がない間、お母さん

が寂しがるのではないかと心配している人、とにかくいろんなことをやってみたいとやる気満々の人、ボーリングや買い物に行きたいと具体的に想いを馳せている人など、それぞれがこの事業に期待を持っていることがよく伺えました。

保護者からも、この事業への期待が多く出され、初めての受託事業ですが、仲間間の要求を大切にしつつ、一人一人の自立を考えていく取り組みになればと思います。

以下、第一回目のそれぞれのグループの取り組みの様子を報告します。

Aグループ

跡野、中田、松井

初日は、まずオリエンテーションから始まります。一日目は、市電と船に乗って宮島へ行くんだよね、「お小遣いを三千円持って来た

よ」「三日間だから荷物が重い、重い」と三日間の計画・内容をみんなで確認して、それぞれお金をいくらか持ってきたか確認し、かばんから荷物を出して整理をしました。

「スバゲティをつくったんよ。おいしくできたよ」と二日目の作業所で職員に報告する跡野くん。レジで緊張しながらお金を渡す中田くん。跡野くんが乾いた洗濯物(タオル)をとりこみ、それをきれいにたたんで押入に入れる松井くん。新しいことに挑戦したり、仲間との関わりを楽しみながら過ごした三日間でした。

Bグループ

山手、北岡、矢野

「夏に向けてサンダルが買いたいけどちよつと値段が高いね」「かわいいかばん、あるかな。一日目のアルパークでの買い物では、仲間同士であれにしようか、これにしようか、品物を見て選ぶ姿がとても生き生きしていました。最終日にはなれない手つきで計算機を使いながら、使ったお金を小遣い帳に書き込み、「けつこう使ったね」と金額をみて驚く山手さん。「コロッケを家ででもつくってみたいので、作り方の書いた紙を持って帰ります」とレシビを大事そうにかばんに入れる北岡さん。

「みんなに味見をしてみようか」と、味付けが難しいね」と調味料の量にも気を配り、みんなが気に入る料理をつくることを目指す矢野さん。五回を通して、いろいろな経験の中で、生活していくための知識を得たり、仲間同士で知恵を出し合ったりできればいいと思います。

三日目の昼食(肉うどん)づくりでは、仲間同士の連携プレーも見られました。藤本くんの声かけで、中村くんはうどんの袋を開けて持ってきて、藤本くんがそれを鍋に入れて、その間に笹口くんは洗い物と肉切りをしました。できあがった肉うどんを三人とも満足そうに顔で食べました。

1日目	2日目	3日目
10:00 集合(おむせ)オリエンテーション	7:00 起床	7:00 起床
11:30 外出	7:30 朝食準備 朝食 後片づけ	7:30 朝食準備 朝食 後片づけ
12:00 昼食(外食)	8:55 もみじの家出発 9:15 バス停前離脱(公営バスで)	10:00 古江地域の散策
外出 ・スーパー ・コンビニ ・ショッピング ・ボウリング	10:00 作業所で働く	12:00 昼食準備 昼食 後片づけ
買い物(おむせの朝の朝)	15:30 作業所終了 15:45 作業所出発(公営バスで)	14:00 感想 反省会
17:30 夕食準備	16:30 もみじの家着 買い物	15:00 解散
19:00 夕食 後片づけ	18:00 夕食準備 夕食 後片づけ	
21:00 入浴 自由時間	21:00 洗濯 洗濯物を干す 入浴、自由時間	
22:00 感想 明日の予定確認	22:00 感想 明日の予定確認	
22:30 就寝	22:30 就寝	

につかひようだよ!

精神薄弱者生活自立訓練事業とは?

97年度から広島市より委託された事業で、精神薄弱者に対し、保護者の元を離れ、3人1グループで、2泊3日の宿泊生活を年間5回体験してもらい、自立生活に必要な基本生活の知識・技術や独立・自活の意識を養うことにより、保護者なき後の自立の条件整備を図ることを目的としたものです。

Cグループ

中村、笹口、藤本

三日目、お金の勉強と買い物学習をしました。「五十円玉が二枚で、百円玉になるんだよ」と職員が言うと、「へえ」と驚く笹口くん。職

員が店員になり、もみじの家の中にあるものに値段をつけ、さあ、買い物開始。小銭を使うのが苦手なので、「とりあえず千円でお願います」と千円札を渡す藤本くん。反省会では、「お金の使い方をもっと勉強したい」と次への目標を言う仲間もいました。

三日目の昼食(肉うどん)づくりでは、仲間同士の連携プレーも見られました。藤本くんの声かけで、中村くんはうどんの袋を開けて持ってきて、藤本くんがそれを鍋に入れて、その間に笹口くんは洗い物と肉切りをしました。できあがった肉うどんを三人とも満足そうに顔で食べました。

もみじ福祉会設立5周年記念事業取組始まる

～3つの取り組みで5周年を意義あるものに～



今年度私たちは、もみじ福祉会設立5周年、第一、第二もみじ作業所開所5周年、という一つの区切りとなる年を迎えました。この五年間、私たちは一貫して『法人化はゴールではない』を合言葉に、日常の実践の向上、重度障害者の働く場活動の場の一層の拡充、地域生活の支援体制の構築などを志してきました。

この五年間、遅々とした歩み、微々たる成果だったかもしれませんが、この年を迎えるに当たり、これまでの歩みと成果をまとめ、これからの課題と目標を確かめ合う機会を持ちたいと思っています。

そして、この取り組みを、これからの課題や目標を越えなければならぬ山や壁としてでなく、「私たちの夢」として語り合い、共感し合える場にしていきたいと考えています。また、この場を、もみじ福祉会の法人化をはじめとする様々な取り組みに対してご支援・ご協力いただいた多くの人たちと共有できるものにしていきたいと思っています。

記念講演

具体的には、①第六回「もみじコンサート」の開催を中心としながら、②記念講演会の開催、③小記念誌の発行の三つの取り組みを企画しています。

私たちは、法人化までの五回の「もみじコンサート」の中で、もみじ福祉会の法人化の取り組みを支えていただいたたくさんの方たちと出会うことができました。第六回「もみじコンサート」は、私たちがこれまで出会った、法人化の取り組みや法人の取り組みを支えていただいたたくさんの方たちと出会うことができ、私たちが法人化までの五回の「もみじコンサート」の中で、もみじ福祉会の法人化の取り組みを支えていただいたたくさんの方たちと出会うことができました。

もみじ小記念誌

私たちは、記念講演会の開催、小記念誌の発行と合わせて、第六回「もみじコンサート」の開催で、もみじ福祉会設立5周年を意義あるものにして、もみじ福祉会設立5周年記念事業推進委員会を発足させ、張り切っているところです。

もみじコンサート

私たちが、記念講演会の開催、小記念誌の発行と合わせて、第六回「もみじコンサート」の開催で、もみじ福祉会設立5周年を意義あるものにして、もみじ福祉会設立5周年記念事業推進委員会を発足させ、張り切っているところです。

「もみじ福祉会」のさらなる発展を願い、支援して、五月十二日、もみじ福祉会後援会が結成されました(旧「育てる会」のリニューアルです)。

さらなる「夢」を「形」に!

もみじ福祉会後援会結成! ご入会をお願いします

「もみじ福祉会」のさらなる発展を願い、支援して、五月十二日、もみじ福祉会後援会が結成されました(旧「育てる会」のリニューアルです)。

「もみじ福祉会」のさらなる発展を願い、支援して、五月十二日、もみじ福祉会後援会が結成されました(旧「育てる会」のリニューアルです)。

久 笠 信 雄 様
もみじ福祉会後援会 様
YMCAワイワイバザー 様
もみじ福祉会保護者会 様

ご寄付ありがとうございました (3月～6月)

もみじ福祉会では、只今「将来構想第一期五年計画」第一次案の討議の真っ最中。今後の福祉会の発展のために、共に歩み、ある

「もみじ福祉会」のさらなる発展を願い、支援して、五月十二日、もみじ福祉会後援会が結成されました(旧「育てる会」のリニューアルです)。

「もみじ福祉会」のさらなる発展を願い、支援して、五月十二日、もみじ福祉会後援会が結成されました(旧「育てる会」のリニューアルです)。

「もみじ福祉会」のさらなる発展を願い、支援して、五月十二日、もみじ福祉会後援会が結成されました(旧「育てる会」のリニューアルです)。